

# 道徳通信

大田区立馬込第三小学校  
東 山 良 彦  
道 徳 部  
令和 4 年 2 月 18 日  
第 5 号

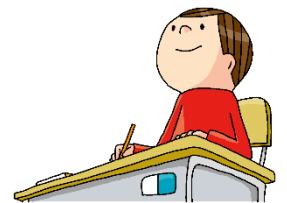
予定されていた、道徳授業地区公開講座ですが、残念ながら授業公開という形での実施ができなくなりました。しかし、道徳の授業は予定どおり行われます。ぜひ、お子さんと一緒に授業の中で、どんなことを考えたり、思ったりしたかを御家庭で話し合ってください機会にさせていただきたいと思います。また、講師の橋本ひろみ先生の講演の様子は録画をして、保護者の皆様に配信をする予定でおります。準備が整い次第、連絡を致しますので、ぜひ、お待ちください。

さて、今回は「道徳的行為に至るまでの段階」について考えていきます。

## 道徳的行為に至るまでの段階

一般的に、よりよい行動を「道徳的である」と表すことがあります。道徳的行為に至るまでの段階について考えていきたいと思ひます。

- ① 誰かに指示をされて行動する
- ② 誰かの模倣した行動をする
- ③ 行動が習慣となる
- ④ 行動の良さや大切さを考えられる。
- ⑤ 自分で判断をして行動できるようになる
- ⑥ その人の性格や態度となり、自然な状態での行動となる



例えば・・・

- ①「挨拶をしなさい」と言われたから挨拶をする。
- ②挨拶をしている人を真似て挨拶を試みる。
- ③挨拶をすることが習慣となる。
- ④挨拶をすることは気持ちがいいと思って挨拶ができる。
- ⑤挨拶をした方がいいなと自分で考えて挨拶ができるようになる。
- ⑥気持ちの良い挨拶が、その人となりとして表れ、自然な行動として身に付いている。このような段階があると考えてみましょう。

さて、お子さんは、今、どの段階でしょうか。もちろん⑥「その人の性格や態度となり、自然な状態での行動となる。」段階が理想ではありますが、ここに至るまでには、様々な段階がありそうです。家庭教育の道徳では、「お客さんが来たら、しっかりと挨拶をしなさい。」ということも必要です。また、保護者の方がしっかりと挨拶をしているのを見て、お子さんも「挨拶をしなくちゃいけないな。」と思うこともあるでしょう。①や②が繰り返されることにより、行動が自然にできるようになると考えます。

同じことは、学校でも言えます。「時間を守りましょう。」と言われて時間を守る。時間を守って褒められている友達を見て、自分も守るようになる。時間を守ることが習慣となるなどです。ここの①～③がしっかりと身に付けるようにすることは、家庭でも学校でも同じように大切なことです。

道徳の時間では、④～⑥についてしっかりと考えます。「全員が時間を守ったから、授業を時間通りに始められた。とても気持ちよくスタートができる。」「挨拶をすると、自分も相手もいい気持ちになる。」ということじっくりと考えていきたいです。

家庭の教育も学校の教育も道徳の授業も、どれもとても大切です。どんな子を育てたいのか、どんな子に育ててほしいのかということ大切に、これからも家庭や地域、学校と協力していきましょう。

## 道徳科の授業の様子を紹介します

道徳科の授業では、教材を読み登場人物について考えることが多いです。主な時間が教材を使った時間ではあるのですが、教材から離れて、自分自身について考えることも道徳科の大切な役割です。教材の共通した話の内容で十分に考えてから、一人一人の生活経験について思い出します。

先日、5年生で「尊敬、感謝」の授業を行いました。教材は「野口英世」を主人公とした内容です。「千円札の人だ!」「黄熱病を発見した人だ。」なるほど、さすが馬三の子供たちです。よく知っています。この教材では野口英世を支えている人たちにも視点が当てられていて、英世の功績には、様々な人たちによって支えられていることについて考えました。その後、自分を支えてくれる人について考えました。自分の生活は、どんな人によって支えられているのかということについて自分自身を振り返りました。

多かったのは、家族の人です。「毎日、ご飯を作ってくれている。普通に生活できるのは、家族の人のおかげだと思う。」という普段の生活を過ごすことへの感謝の気持ちを感じている子もいれば「たくさんのお手紙をしてくれる。ちょっと悪いなと思うこともある。」と考えている子もいました。なるほど、もしかしたら、いろいろお願いすることが多くて、お家の人に悪いなという思いがあるのかもしれません。そういう気持ちは、口に出したり伝えたりしないと、分からないこともありますよね。ぜひ、「ありがとう」の気持ちを伝えてみてくださいねと、子供たちには話してあげたいなと思いました。

児童の様子を紹介します。

私の周りには、たくさんの方がいて、支えてもらっています。特に、先生に支えてもらっていると感じます。先生は、いつも授業をていねいにくださっているし、やさしくしてくれています。どんなに大変でも、一生けん命やってくれるのが伝わるので、私もがんばろうと思わせてくれています。私は、その支えを受けて、それに応えられるように努力しなければならぬんだなと思います。これからも、一生けん命を受け取れる人になりたいです。

「一生けん命を受け取れる人になりたいです。」  
一生懸命がつながっていくのが素敵ですね。きっと、この子の一生懸命も誰かの一生懸命につながっていくのでしょうね。

もう とにかく みんな!!  
何かを失敗したときに励ましてくれる親、友達、先生。支えてもらったから、次は、私も支えたい。失敗しても、くじけずに続けたい。恩返し!  
知らない人にも支えられている。ご飯を作っている人、身の周りのものを作っている人など!

「もう とにかく みんな!!」  
この言葉で気持ちが伝わってきます。この子のパワーを感じます。

授業の最後に、「ありがとう」という詩を紹介して、授業を終わりにしました。

ありがとう  
文房具 ありがとう  
えんぴつ コンパス大切にします。  
花のなえ ありがとう  
おかあさんとほちに植えました。  
花が咲くのが 楽しみです。  
うちわ ありがとう  
あつとき、うちわで  
あおいでいます。  
くつを ありがとう  
サッカーのとき、とつてもけりやす  
くて、いっしょけんめい 走って  
います。  
クッキー ありがとう  
家でおいしく 食べました。  
さんこう書 ありがとう  
勉強 これから がんばります。  
図書カード ありがとう  
本をたくさん 買いました。  
やきそば 作ってくれてありがとう  
おいしく、いっぱい 食べました。  
教室に せんぼうき ありがとう  
これで 勉強はかどります。  
おうえんの ことは ありがとう  
ところが げんきになりました。  
さいごに  
おじいちゃん みつけてくれて  
ありがとう  
さよならすることができました。

出典 3・11大震災復興記念企画

「ありがとうの詩」より

児童作品(菊田心)